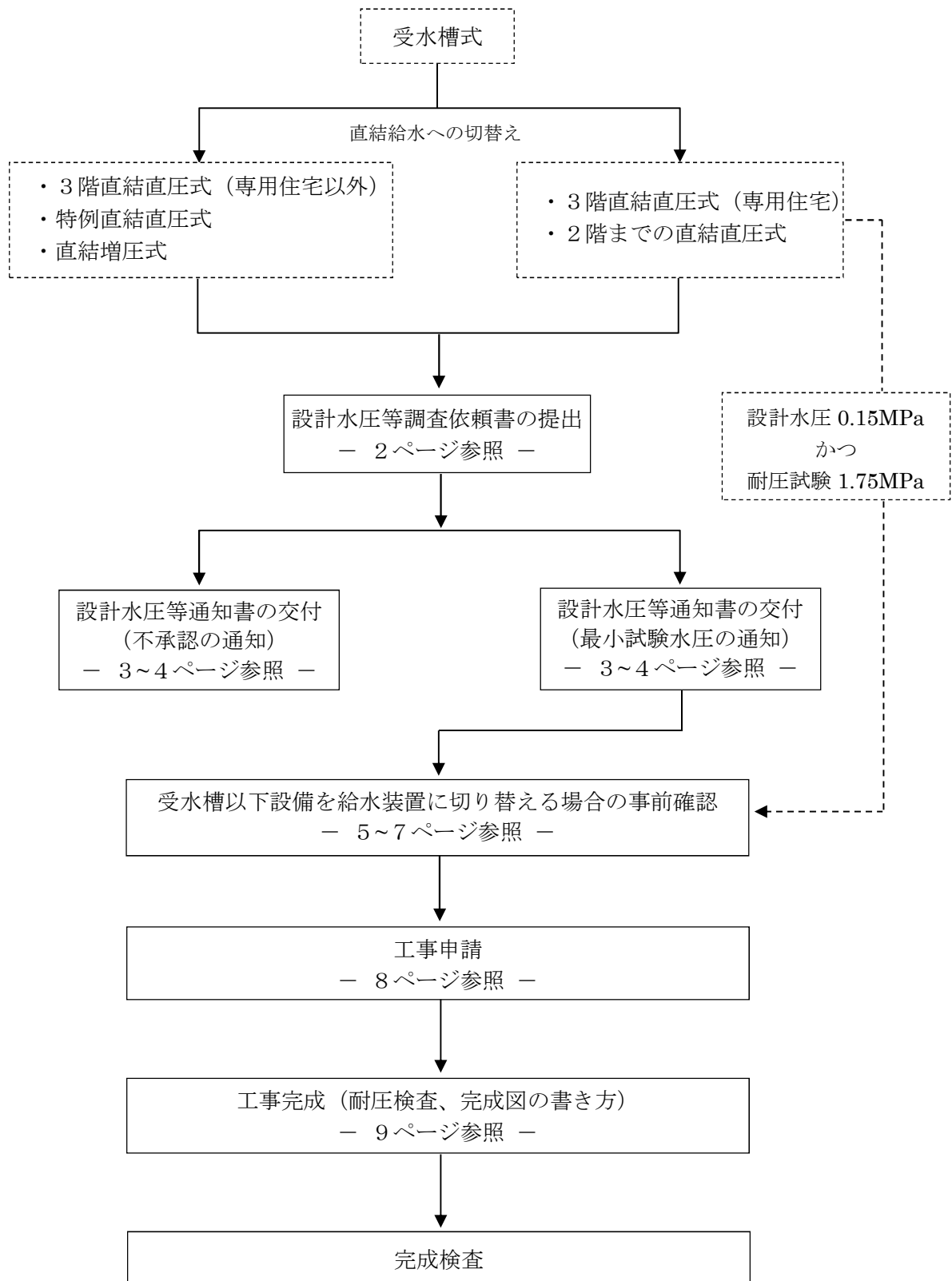


受水槽以下設備を給水装置に切り替える場合の手続きについて



1 設計水圧等調査依頼書の提出（申請者から局に提出する）

|    |    |        |      |    |
|----|----|--------|------|----|
|    | 担任 | 給水管理係長 | 課長補佐 | 所長 |
| 見本 |    |        |      |    |

設計水圧等調査依頼書

令和 〇〇 年 〇 月 〇〇 日

（あて先）川崎市上下水道事業管理者

提出する日付を記入してください。

(〒〇〇〇 - 〇〇〇〇 )  
〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇番地

申請される方の住所・氏名・電話番号をお書きください。企業名等で申請される場合には、代表者名のほかに担当者名を必ず記入してください。

住 所

氏名・名称及び代表者名

電 話 番 号

〇〇 〇〇

〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

給水方式を検討するに当たり、設計水圧の調査及び水量を確保できる地域であるかの調査のため、川崎市水道条例施行規程第11条第1項の規定に基づき、水圧の測定による設計水圧等の調査を依頼します。

|                                    |                      |
|------------------------------------|----------------------|
|                                    | (〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 )      |
| 調 査 箇 所                            | 〇〇 区 〇〇町〇丁目〇〇-〇〇 番地  |
| 調査依頼の給水方式にチェックをしてください。複数選択でも構いません。 | 建築物の名称 〇〇〇〇ビル        |
|                                    | ※ 調査箇所の案内図を添付してください。 |

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 検討している給水方式<br>（複数選択可） | <input type="checkbox"/> 3階直結直圧式給水 <input checked="" type="checkbox"/> 直結増圧式給水 |
|                       | <input type="checkbox"/> 特例直結直圧式給水（給水する階数 _____ 階） <input type="checkbox"/> 調査 |

既設建築物の受水槽式給水設備から直結式の給水装置への切替え  有 ・  無

※設計水圧を0.15Mpaより大きい値を使用し直結直圧式給水を検討する場合、又はその調査を依頼する場合は、「調査」を選択してください。

※太線の中は必ず記入してください。

受水槽式から直結給水式へ切替える場合は、有にチェックを入れて下さい。

工事概要について確定しているものがあれば、記入してください。

| 工 事 概 要   |  |
|-----------|--|
| 建築物の概要    | 階数 _____ 〇〇 _____ 階 戸数 _____ 〇〇 _____ 戸<br>瞬時最大使用水量 _____ 〇〇 _____ ℓ/分   |
| 給水装置工事の概要 | 予定引込給水管 <input checked="" type="checkbox"/> 新規取出し ⇨ (口径 〇〇 mm)<br><input type="checkbox"/> 既設管使用<br>分岐対象管の種別 <input checked="" type="checkbox"/> 配水管 ⇨ (口径 〇〇 mm)<br><input type="checkbox"/> 給水管 ⇨ (口径 〇〇 mm) |
|           | ※ 分岐対象管となる給水管の分岐元配水管口径 〇〇 mm   |
| 予 定 工 期   | 令和 〇〇 年 〇〇 月から 令和 〇〇 年 〇〇 月まで  |

該当箇所にチェックをしてください。

No.

## 2 設計水圧等通知書の交付（局から申請者に交付する）

### 見本（表）

年 月 日

様

川崎市上下水道事業管理者 ㊟

### 設計水圧等通知書

年 月 日付けで依頼のありました件につきまして、川崎市水道条例施行規程第11条第2項に規定する水圧測定の結果に基づく設計水圧等について、次のとおり通知します。

|      |             |
|------|-------------|
| 調査箇所 | 区<br>建築物の名称 |
|------|-------------|

- ※ この通知書は、調査箇所において設計の際に必要な設計水圧等を通知するものであり、工事を承認するものではありません。
- ※ 設計水圧は、測定時におけるデータを基にしたものです。
- ※ 給水装置工事については、川崎市水道条例、川崎市水道条例施行規程、直結給水の範囲拡大に関する取扱要領等に従って設計・施工してください。

（例：直結給水に切替えを承認する場合）

（設計水圧）調査箇所は、〇〇式給水が可能です。この方式で給水装置の設計を行なう場合には、配水管の設計水圧を〇.〇〇MPa以下で設計することとします。

（最小試験水圧）受水槽以下設備を直結給水に切替える工事を行なう場合の最低（最小）試験水圧は、〇.〇〇MPaとします。

受水槽式から直結給水への切替えがある場合、備考欄に事前確認で行う耐圧試験の試験水圧を通知します。

（例：給水方式が不承認の場合）調査箇所は、〇〇式給水に必要な配水管の水圧が確保できない地域です。

水圧測定の結果、配水管の水圧が規定水圧未満である場合、検討している給水方式について不承認を通知します。

## 見本（裏）

### 留意事項

給水装置工事に関して、次のことに留意してください。

水圧測定依頼書に記載の工事概要

|           |   |         |       |         |  |       |         |          |     |         |  |     |         |
|-----------|---|---------|-------|---------|--|-------|---------|----------|-----|---------|--|-----|---------|
| 建築物の概要    | 階数 _____ 階      戸数 _____ 戸<br>瞬時最大使用水量 _____ ℓ/秒 ・ ℓ/分  |         |       |         |  |       |         |          |     |         |  |     |         |
| 給水装置工事の概要 | <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 40%;">予定引込給水管</td> <td style="width: 20%;">新規取出し</td> <td style="width: 40%;">(口径 mm)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>既設管使用</td> <td>(口径 mm)</td> </tr> <tr> <td>分岐対象間の種別</td> <td>配水管</td> <td>(口径 mm)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>給水管</td> <td>(口径 mm)</td> </tr> </table> <p>※ 分岐対象管の種別が給水管の場合<br/>         配水管から予定引込給水管までの分岐状況</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">             配水管<br/>口径 mm         </div> <div style="font-size: 2em;">⇒</div> <div style="text-align: center;">             予定引込給水管<br/>口径 mm         </div> </div> | 予定引込給水管 | 新規取出し | (口径 mm) |  | 既設管使用 | (口径 mm) | 分岐対象間の種別 | 配水管 | (口径 mm) |  | 給水管 | (口径 mm) |
| 予定引込給水管   | 新規取出し   | (口径 mm) |       |         |  |       |         |          |     |         |  |     |         |
|           | 既設管使用   | (口径 mm) |       |         |  |       |         |          |     |         |  |     |         |
| 分岐対象間の種別  | 配水管   | (口径 mm) |       |         |  |       |         |          |     |         |  |     |         |
|           | 給水管   | (口径 mm) |       |         |  |       |         |          |     |         |  |     |         |
| 予定工期      | 年 _____ 月から _____ 年 _____ 月まで   |         |       |         |  |       |         |          |     |         |  |     |         |

No.

### 3 事前確認

設計水圧等通知書の交付を受けた後、工事申込者（指定給水装置工事事業者が申込手続きを委任されている場合は、当該工事事業者）は、事前に次の（１）～（３）に掲げる場合に応じ、該当する事項を実施、確認すること。

#### （１）更生工事の履歴のない受水槽式給水設備から、直結給水方式に切り替える場合

##### ア 既設配管の材質

（ア）「給水装置の構造及び材質の基準」（以下、「構造材質基準」という。）に適合した製品が使用されていることを現場及び図面にて確認する。

（イ）構造材質基準に適合した製品が使用されていない場合は、同基準に適合した給水管、給水用具に取り替える。

##### イ 既設配管の耐圧試験

耐圧性能については、以下の水圧を受水槽以下設備に１分間加えた後、漏水等が生じないことを事前に確認する。

（ア）受水槽以下設備を直結増圧式による給水装置に切り替えようとする場合において、増圧設備試験水圧（増圧設備の吐出圧に $0.55\text{MPa}$ を加えた水圧）が最小試験水圧（配水管の水圧測定による、最大静水圧に $0.55\text{MPa}$ を加えた水圧）を上回る場合は、増圧設備試験水圧以上、最大試験水圧（ $1.75\text{MPa}$ の水圧）以下の水圧とする。

（イ）（ア）以外の場合は、最小試験水圧（配水管の水圧測定による、最大静水圧に $0.55\text{MPa}$ を加えた水圧）以上最大試験水圧（ $1.75\text{MPa}$ の水圧）以下の水圧とする。

##### ウ 水質試験

（ア）直結給水への切替前において、水道法第２０条第３項に規定する地方公共団体の機関又は、厚生労働大臣の登録を受けた者による水質試験を行い、水道法第４条に定める水質基準を満足していることを確認する。

（イ）採水方法は、毎分 $5\text{L}$ の流量で５分間流して捨て、その後 $15$ 分間滞留させたのち採水するものとする。

（ウ）試験項目は味、臭気、色度、濁度のほか、協議結果に応じて鉄、 $\text{pH}$ とする。

#### （２）更生工事を施行した履歴があり、ライニングに使用された塗料・工法及び施工状況が明らかな場合

##### ア 既設配管の材質

ライニングに使用された塗料が構造材質基準に適合した製品である場合は、施工計画書（工法、塗料、工程表等）及び施工計画に基づく施工報告書（写真添付）並びに塗料の浸出性能基準適合証明書の確認を行う。

なお、塗料が第三者認証品である場合は、浸出性能基準適合証明書に代えて認証登録証の写しとすることができる。

##### イ 既設配管の耐圧試験

耐圧性能については、以下の水圧を受水槽以下設備に1分間加えた後、漏水等が生じないことを事前に確認する。

(ア) 受水槽以下設備を直結増圧式による給水装置に切り替えようとする場合において、増圧設備試験水圧（増圧設備の吐出圧に0.55MPaを加えた水圧）が最小試験水圧（配水管の水圧測定による、最大静水圧に0.55MPaを加えた水圧）を上回る場合は、増圧設備試験水圧以上、最大試験水圧（1.75MPaの水圧）以下の水圧とする。

(イ) (ア) 以外の場合は、最小試験水圧（配水管の水圧測定による、最大静水圧に0.55MPaを加えた水圧）以上最大試験水圧（1.75MPaの水圧）以下の水圧とする。

#### ウ 浸出性能確認の水質試験

(ア) 適切な施工が行われたことを確認するため、現地にて水道水を毎分5Lの流量で5分間流して捨て、その後15分間滞留させた水を採取するとともに、管内の水をすべて入れ替えた後の水を対照水（ブランク）として採取し、公的検査機関で水質試験を行い、構造材質基準に基づく浸出等に関する基準を満足していることを確認する。

(イ) 試験項目は、味、臭気、色度、濁度のほか、更生工事に使用された塗料から浸出する可能性のある項目とする。

### (3) 更生工事を施行した履歴があり、ライニングに使用された塗料・工法及び施工状況が確認できない場合

#### ア 既設配管の耐圧試験

耐圧性能については、以下の水圧を受水槽以下設備に1分間加えた後、漏水等が生じないことを事前に確認する。

(ア) 受水槽以下設備を直結増圧式による給水装置に切り替えようとする場合において、増圧設備試験水圧（増圧設備の吐出圧に0.55MPaを加えた水圧）が最小試験水圧（配水管の水圧測定による、最大静水圧に0.55MPaを加えた水圧）を上回る場合は、増圧設備試験水圧以上、最大試験水圧（1.75MPaの水圧）以下の水圧とする。

(イ) (ア) 以外の場合は、最小試験水圧（配水管の水圧測定による、最大静水圧に0.55MPaを加えた水圧）以上最大試験水圧（1.75MPaの水圧）以下の水圧とする。

#### イ 浸出性能試験

(ア) ライニングに使用された塗料については、既設給水管の一部をサンプリングし、それを供試体として公的検査機関で構造材質基準に基づく浸出性能試験を行い、浸出等に関する基準に適合していることを確認する。

(イ) 既設給水管のサンプリングが困難であり、浸出性能試験が実施できない場合は、現地にて水道水を16時間滞留させた水（給水設備のライニングされた管路内の水であって、受水タンク等の水が混入していないもの）を採取するとと

もに、管内の水をすべて入れ替えた後の水を対照水（ブランク）として採取し、公的検査機関で水質試験を行い、浸出等に関する基準を満足していることを確認する。この場合において、一度の採水で5Lの水量を確保できない場合は、同じ操作を繰り返し行い、水量を確保する。

(ウ) 試験項目は、味、臭気、色度、濁度のほか、浸出等に関する基準別表第1のすべての項目を行う。

#### 4 給水装置工事の申込み

受水槽式給水設備を直結給水方式の給水装置に変更する工事は、改造工事とし、給水装置工事施行承認申込書に次の書類を添付して申し込むこと。

なお、更生工事を施行した履歴の有無を、給水装置工事申込者の確認を得た上で、給水装置工事施行承認申込書の諸届出欄にその旨の記載をすること。

| 提出書類  | (1) * | (2) * | (3) * |
|---|-------|-------|-------|
| 設計図   | ○     | ○     | ○     |
| 設計水圧等通知書の写し<br>(ただし、2階建以下の直結直圧式及び専用住宅の3階直結直圧式給水の場合で、耐圧試験水圧を1.75MPaで行う場合は不要) | △*2   | △*2   | △*2   |
| 直結給水条件承諾書又は特例直結直圧式給水条件承諾書 (ただし、1、2階建ての場合は不要)                                | △*2   | △*2   | △*2   |
| 水質試験成績証明書   | ○     |       |       |
| 塗料の浸出性能基準適合証明書。ただし、第三者認証品の場合は当該機関の認証登録証の写し                                  |       | ○     |       |
| ライニングによる更生工事施工時の施工計画書及び施工報告書 (写真添付) ※                                       |       | ○     |       |
| 浸出性能確認の水質試験成績証明書  |       | ○     | ○     |
| 浸出性能試験成績証明書   |       |       | ○     |
| その他局が必要と認める書類   | ○     | ○     | ○     |

(\*1) 表中の(1)(2)(3)は、6ページの「3 事前確認」に記述されている(1)(2)(3)のケースの工事をいう。

(\*2) △は、但し書きの場合は不要であることをいう。

※施工計画書及び施工報告書は、確認が済み次第返却する。

第1号様式 (第3条関係)

給水装置工事施行承認申込書 (宛先)川崎市上下水道事業管理者

|   |                                    |   |                                      |
|---|------------------------------------|---|--------------------------------------|
| 局<br>受付印  | 設計                                 | 押印欄   | 水栓番                                  |
| 工事<br>承認印   | 完成                                 |   | 工事場<br>申 込                           |
| 設計水圧<br><small>※受水槽式、3階直結式(専用住宅に限る)において、設計水圧0.19Mpa(内)で設計した場合には拡大しなくてもよいものとします。</small> | 給水方式<br><small>※併用の場合は複数選択</small> | <input type="checkbox"/> 受水槽式 ( 階～ 階)<br><input type="checkbox"/> 直結直圧式 ( 階～ 階)<br><input type="checkbox"/> 3階直結直圧式 ( 1 階～ 3 階)<br><input type="checkbox"/> 特例直結直圧式 ( 階～ 階)<br><input type="checkbox"/> 直結増圧式 ( 階～ 階) | 住<br>住<br>氏<br>電話                    |
| Mpa   |                                    | 受水タンク以下設備の状況<br>更生工事を施行した履歴無し<br>申込者氏名 _____  | ※設計<br>私(申込<br>※所有<br>(1)給水<br>(2)原則 |

諸届出欄記入例

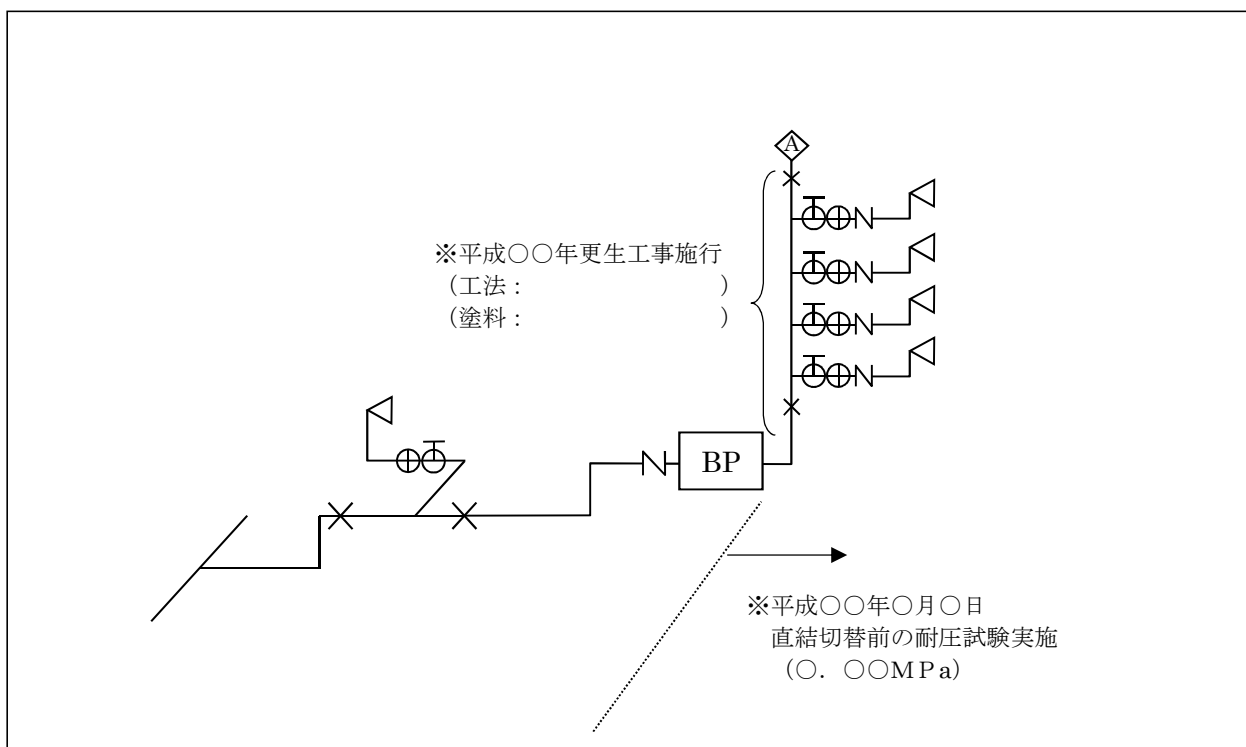


## 5 給水装置工事完成時の耐圧試験

耐圧試験における水圧は、1.75 MPa とし、1 分間水圧を加えた後、水漏れ等が生じないことを確認すること。ただし、事前確認にて耐圧試験を行った箇所は完成時の耐圧試験を省略してよい。

## 6 設計図及び完成図の記入方法

更生工事を施行した履歴がある場合はその施工範囲(ライニングに使用された塗料・工法及び施工状況が明らかな場合は、塗料・工法)を明示すること。また、6 ページの「3 事前確認」に記載されている既設配管の耐圧試験結果を記入すること。



設計図・完成図記入例